

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市宮城野児童館
2	指定管理者	社会福祉法人宮城厚生福祉会
3	指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》 32,359人 (前年度比 92.7%) 平成30年度 34,913人 平成29年度 35,262人 平成28年度 31,812人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 32,916千円 (32,700千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)
		《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円)
		・ その他収入 0千円 (0千円)
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II	施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III	施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV	サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V	施設固有の基準	児童クラブについては、サテライト室を含め日常的な校庭での運動遊びを取り入れるほか、学習等のために静かに過ごせる環境も確保するなど、児童一人ひとりと集団全体の生活を共に豊かにするよう努めている。館の合言葉でもある「花と絵と音楽」に触れる活動を通して、情緒豊かな子どもの育ちを支援している。保護者との日常的なやりとりや行事参加を通して理解と協力関係を深めるとともに、学校との細やかな連携や放課後等デイサービスとの情報共有を進め、個々の児童に対しての丁寧な支援体制を整えている。	18/18

三 評価総括

《指定管理者（ 社会福祉法人宮城厚生福祉会 ）による自己評価》

これまで13年間、地域の遊びの拠点になるよう、日々児童館の運営を続けてきた。現在、年間延べ3万人を超える利用者があり、定員を超えるほどの児童クラブ登録がある。また利用率も比較的高く、幸い子ども達と地域に支持を受ける中で、今日を迎えられたと考えている。宮城野児童館は当初から、子どもや保護者等の意見表明や参加を重視してきた。みんなで話し合う子ども会議を続けてきた。「みんなのこえ」という投書箱には毎年たくさんの意見や要望が出され、生活の改善に生かされている。子ども自身が行事を考え実行する機会もある。利用者アンケートも毎年実施し、館運営に生かしてきた。今年度は、これまでのものに加え高学年子ども委員会がはじまり、上学年が恒常的に館運営に係る取り組みがスタートした。同時に宮城野保護者会も発足し、こちらは保護者の側から運営に参加してもらえる道筋が出来た。次年度からの5年間に向けて一つの方向性として今後も伸ばしていきたい。

健全育成として「花と絵と音楽がある児童館」を当初からの合言葉にしてきたが、実際子ども自身が各場面で活動し、身近に「花と絵と音楽」を楽しめる児童館になってきている。中学生を含む自由来館が途切れず、ボランティア参加も増えている。幼児クラブの利用者の満足度が高いことも、幼児親子に寄り添った当児童館の特色の一つといえる。地域連携として今年も介護福祉施設訪問や仙台市工業高校との連携を継続し、子どもが楽しみながら活動する姿が見られた。年2回の運営懇談会では多くの地域団体が集まり、意見や感想をいただくことが出来た。また保育園とも連絡会を持ち、毎月1,000部を超える館便りで広く地域と繋がりを持っている。

《施設設置者（仙台市）による評価》

総合評価

児童健全育成事業の一環として今年度から始まった「高学年子ども委員会」は、児童館運営に対して、子ども達が参加できる機会を持たせたいという思いから発足し、委員会の子どもの夏休みの遊び企画や館まつりのコーナー企画など、自主性や社会性、協調性を育む場として活動を支えた。また、「ご意見箱」に寄せられた児童館を利用する子ども達からの意見について、委員会の子どもの達が問題解決に向けて話し合うなど、児童館の職員が投書箱「みんなの声」に寄せられた子ども達の声に耳を傾け丁寧に対応してきた姿勢が、委員会の子どもの達に受け継がれている点が評価できる。

隣接する仙台市工業高校との連携事業を継続することにより、高校生のみならず、乳幼児親子や地域住民との交流を深めた。また、地域の高齢者施設に児童が訪問する取り組みも継続するなど世代間交流に積極的に取り組んでおり、社会性を育むとともに、子ども達が地域の一員であることの自覚を高めている。

ボランティアの協力により開催している「囲碁将棋クラブ」や季節の行事へ多くの自由来館児童が参加するほか、日常的に児童館を利用する中学生も多く、児童クラブ登録児童以外にも地域の遊び場として着実に根付いている。

子育て家庭支援事業では、「赤ちゃんサロン」で多様な行事を企画・開催するほか、1歳児、2・3歳児向けの二つの幼児クラブの運営やマイスクール宮城野の子育てサークルへの協力など、ニーズに応じたプログラムを展開している。

多岐に亘る事業を通じて、児童館が地域の子どもの居場所となり、また子どもを中心とした世代間交流の拠点としての役割を果たしている。

S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課